

## ◆ICMについて

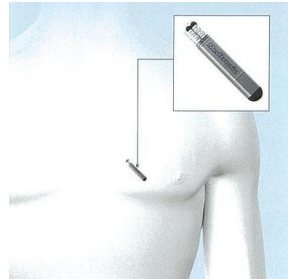
担当看護師 菱中 夕貴

当院では昨年9月より不整脈や失神の原因検索のため、外来でICM（植込み型ループレコーダー）の植込み術を行っています。部分麻酔による処置なので、ICMの植込み術は準備も含めて約30分程度で終了します。ICM植込み後はメドトロニックの担当者から、日常生活の注意点や不整脈出現時の対応について説明を受けていただきます。また、ICMの担当看護師からも日常生活上での管理や注意点について、パンフレットを用いて説明させていただきます。

ICM植込み後は、一部の電気製品や強い電磁波を出すものには注意が必要となります。病院でのMRI検査にも強い電磁波を使用しているため注意が必要ですが、当院はICM対応型なのでMRI検査は可能です。

その他、ご不明な点につきましては、地域医療連携室まで問い合わせください。

### ICMパンフレット



## ◆医師の異動（2月）

医師の異動はありません

## ◆地域医療従事者研修のご案内

### ■第2回医薬品安全管理研修会

日時：平成30年2月15日（木）17：45～19：00

会場：市立長浜病院 講堂

テーマ：免疫チェックポイント阻害薬と副作用マネジメント

講師：市立長浜病院 呼吸器内科責任部長 野口 哲男、薬剤師 中村 俊之、看護師 河野 真弓

問合先：薬剤局 電話 0749-68-2300（代表）

### ■世界腎臓デー「市民公開講座」の開催

日時：平成30年3月11日（日）10：00～11：30（9：30から受付）

会場：北ピワコホテル グラツィエ（2階）

テーマ：慢性腎臓病 あなたは大丈夫～高血圧は透析の危険があります～

講演：「高血圧が腎臓を悪くする！～万病の元、高血圧について学ぼう～」

市立長浜病院 腎臓代謝内科責任部長 森田 善方

「適切な高血圧治療で、腎臓を守り伸ばそう健康寿命！」

滋賀医科大学 腎臓内科 准教授 荒木 信一

「高血圧の食事～だしをきかせておいしく減塩～」

市立長浜病院 栄養科 管理栄養士 古株 陽子

問合先：地域医療連携室 電話 0749-68-2300（代表）

定員：100名（定員になり次第締め切ります）

参加費：無料

血圧測定コーナー（長浜市と減塩味噌汁の試飲を予定）

## ◀◀◀ 編集後記 ▶▶▶

寒さのために更に着物を重ねて着るので「衣更着」といわれる如月。

寒さは苦手なのですが、澄んだ空気がおりなす晴れた朝の景色に心が清められます。普段気づかない、山々の山頂が白く浮き上がり、遠くの山々まで見渡せる景色を楽しみたいと思っています。



Pink-Bu



お伴をする家族の散歩ペースに合わせる家族想いのわんこです。

ビーグル犬のヒーボVIVOです

## ほっとひといき

救急告示病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
厚生労働省臨床研修指定病院  
周産期協力病院

# 市立長浜病院 地域医療連携だより

## 理念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。

平成30年2月1日号 No. 158

市立長浜病院ホームページ

<http://www.nagahama-hp.jp/>

市立長浜病院 検索



市立長浜病院患者総合支援センター 地域医療連携室

〒526-8580 長浜市大茂亥町 313 番地

TEL:0749-65-2720 FAX:0749-65-2730

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

## ◆発見困難な不整脈に～植込み型ループレコーダー～

診療局長兼循環器内科責任部長 高島 弘行



不整脈は動悸や脈が飛ぶといった症状が一般的ですが、中には心停止を起こして失神する、心不全が急激に悪化する、また日本で100万人もいる心房細動のように重症脳梗塞を起こす確率が高いなど危険な不整脈もあります。

しかし困ったことに一過性（発作性）であることも多く、胸がドキドキすると受診されたのに、心電図をとる頃にはおさまってしまっていることもしばしばです。

これまでは24時間心電図（ホルター型心電図）を繰り返し施行していましたが、不整脈発作の頻度が低い場合はせっかく検査をしても動悸発作が起こらず、空振りに終わる確率が高いことが問題でした。

今回ご紹介する植込み型ループレコーダーは、症状から発作性不整脈の可能性があるものの、一般的な心電図検査では不整脈がなかなかつかまらない場合に体内（左胸部の皮下）に埋め込むタイプのものです。大きさはちょうどUSBメモリースティック程度、ペースメーカー手術と違って10分くらいの外来処置（局所麻酔）で身体への負担もありません。電池寿命は3年間で、心拍リズムに乱れが生じると、自動的に心電図が記録されます。診断がついて必要がなくなれば埋め込み時と同様、簡単に取り出すことが出来ます。

植込み後は当院ペースメーカー外来で管理します。無線通信で、どのような不整脈イベントが起こったかどうかを読み出すことが出来ます。

なお植込み型ループレコーダーは精巧なコンピュータですのでペースメーカー同様、外部からの電磁力によって、記録データに影響を受けることがあります。※

患者さんから再々の訴えがあり、不整脈が疑わしいと思っではいるものの、心電図で捕捉出来ずにお困りの場合は是非、当院循環器内科までお申し付けくださいませ。

※

- ・IH調理器
  - ・短時間の使用が望ましい
  - ・携帯電話やノートパソコンなどの無線通信機器
  - ・携帯電話は植込み側と反対側での使用が望ましい
  - ・MRI、電気メスや放射線治療、経皮的電気刺激などの医療処置
- 必ずあらかじめ植込み型ループレコーダーを植え込んでいることを医療者へお伝えください。MRIも特定の条件下ですが撮影可能です。



植込み型ループレコーダー

4ページにICMの簡単な紹介をしています。ご覧ください。

## ◆緩和ケアチーム取り組み紹介

### 緩和ケアチームについて

呼吸器外科責任部長 田久保 康隆

緩和ケアは、ガンなどの生命を脅かす疾患に直面している患者さんとそのご家族を支える基本的な医療です。身体や心のつらさ、悩みを和らげて、出来るだけ快適な生活が送れるように援助します。

当院では、入院中の患者さんとそのご家族に対し、緩和ケアによって、痛み、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな問題をより早期に解決し、苦痛を予防あるいは軽減することを目指しています。

緩和ケアチーム (Palliative Care Team: PCT) は緩和ケアの専門集団です。身体症状の緩和を担当する医師、心のつらさを和らげる医師、看護を担当する看護師(緩和ケアと疼痛コントロールの認定看護師)、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカー・臨床心理士などが、主治医、病棟看護師と協力してよりよい緩和ケアをめざします。基本的に入院となった全てのガン患者さんへの緩和ケアの必要性をスクリーニング方式で評価し、主治医からの依頼がなくても緩和ケア介入致します。週1回のPCTによる緩和ケアカンファレンスと緩和ケア回診以外に認定看護師によるコンサルテーション、勉強会や講習会等も積極的に行っております。

地域とつながり切れ目ない緩和ケアが出来るように地域医療を大切にしておりますので、これからもよろしく願いいたします。

### 薬剤師の役割

緩和薬物療法認定薬剤師 久保田 理恵  
薬剤師 池田 遼太

緩和ケアチームには緩和ケア研修(PEACE)を修了した2名の薬剤師が所属しています。

入院患者さんには臨床検査値からの薬剤提案、相互作用チェック、副作用モニタリングを薬学的視点に基づき実施しています。また、緩和ケアチーム回診の継続的な対応として定期的なラウンドを行い、薬剤の安全な使用と、投与後の薬理的評価を行い症状緩和がはかれていることを確認しています。さらに病棟担当薬剤師との情報共有にて、投薬管理の連携をはかっています。

外来患者さんには、初めて医療用麻薬が開始となった場合に院内で薬剤指導を実施しており、正しい薬の使い方、効果、副作用の発現時期や対応方法について具体的に説明を患者さん・ご家族さんに行い、安心した服用につながるよう努めています。また、在宅での薬剤管理において、かかりつけ薬局との情報連携が今後の取り組み課題であると考えています。

職員に対しては定期的に研修会を開催し、医療用麻薬の適正使用についての教育を行っています。



### 看護師の役割

がん性疼痛看護認定看護師 大町 衣里子

当院には、がん性疼痛看護認定看護師が2名所属し、ともに緩和ケアチームの一員として活動しています。

患者さんからお話を伺い「いたみ」のアセスメントをし、病棟スタッフとカンファレンスを行います。

入院患者さんの「苦痛のスクリーニング(STAS-J)」結果、専門的対応が必要な場合や、病棟スタッフが「困難」と感じている事象などに対して、緩和ケアチームの介入依頼を検討し「橋渡し役」として緩和ケアチーム、多職種との連携を図ります。

また、在宅療養をなされている患者さんの「いたみ」や「つらさ」への支援として自宅での生活状況を伺い、外来スタッフとの情報交換や、訪問看護師との連携、さらに訪問看護への同行対応を行っています。

患者さん・ご家族さんは「がんと診断された時から」身体の痛みなどの身体的苦痛だけでなく、精神的苦痛、心理社会的苦痛、スピリチュアルな苦痛とさまざまな痛みを抱えている方もおられます。そのような患者さんに寄り添い、病期を問わず「いたみ」を緩和できる支援を皆さんと共に考えさせていただきたいと思っています。

### がんリハビリテーション部門

作業療法士 音羽 幸子  
理学療法士 藤井 三和子

当院では、平成24年よりがんのリハビリテーションを開始しています。現在、がんリハビリチームとして理学療法士5名、作業療法士4名、言語聴覚士1名の10名で活動しています。

内容は化学療法・放射線療法・手術療法など治療期における廃用予防、そして肺がん・食道がん・乳がんなどの周術期における早期離床による術後合併症の予防、さらには骨転移のある患者さんへの安全安楽な動作方法の指導などです。また、緩和期では患者さんの希望に寄り添い残された能力でいかに日常生活を保ち、尊厳をもって生活をしてもらえるかを病棟と情報交換をし、リハビリをすすめています。

介護や支援が必要となり退院を目指す際には、在宅を想定しながら排せつや入浴など動作方法の練習や家族への介助指導、適切な福祉用具の選定のアドバイスなども行っています。

病期を問わず、患者さん・ご家族さんが安心して地域で暮らすことができるよう、がんリハビリチームが丸となって取り組んでいきます。今後ともよろしく願いいたします。



## ◆循環器学習会

当院では平成29年11月から平成30年1月にかけて計3回循環器学習会を開催しました。講師は当院のハートケアチームのメンバーが担当し、心疾患を抱える患者さん・ご家族に対する多職種の役割、チーム医療をテーマとしました。学習会は病院職員全体を対象とし、計3回にわたる学習会へ参加した病院職員183名と学びを深めることができました。

この循環器学習会を担当したハートケアチームのメンバーは医師をはじめ、理学・作業療法士、栄養士、薬剤師、検査技師、看護師です。それぞれの職種の専門性を発揮しチーム医療を推進するだけでなく、互いの専門領域における知識・技術を共有することも大切にしています。また、現在は病院内における心疾患患者さん・ご家族への支援に尽力しておりますが、今後は地域にむけて、患者さん・ご家族だけでなく、患者さん・ご家族を支える地域医療従事者の方々との関わりをひろげていくことが課題と考えます。

今回の循環器学習会を通じて得られたものは知識・技術ではありません。日々心疾患患者さん・ご家族への支援に悩んでいる、または課題をいただき取り組もうとする現場スタッフの思いや考えに気づくことができました。ハートケアチームは地域の方々とも互いの思いや考えを共有し、湖北地域ならではの心疾患患者さん・ご家族、これらを支える職種に対する支援について考える・支援を一緒に作りあげていけるよう努力して参りますので、よろしく願い申し上げます。



ハートケアチームにおけるカンファレンスの様子



循環器学習会の様子

## ◆滋賀県がんと向き合う週間-当院の取り組み-

滋賀県では毎年2月4日から10日を「滋賀県がんと向き合う週間」と定めています。

県民や事業者にがんに関する理解と関心を広めるとともに、がんの予防、早期発見等に関する自主的な取り組みへの意欲を高めるための活動が行われます。

当院では、週間に合わせて、がんへの理解を深めていただくための各種事業を行います。

### ■相談窓口・パンフレット等の設置

がんに関する相談窓口を期間中には正面玄関にも設置し、がん専門相談員が無料で応じます。予約不要。お気軽にご利用ください。

また、がんに関連するパンフレットや、がん体験者の作品などを展示します。

期 間：平成30年2月5日(月)～9日(金)

※相談窓口は月～水の9:00～12時

場 所：市立長浜病院玄関ホール



滋賀県健康づくりキャラクター  
しがのハグ&クミ

### ■がん治療にかかる医療費の個別相談会(要予約・無料)

日 時：平成30年2月7日(水) 13時～15時

場 所：市立長浜病院 別館1階「i・りんぐ」

講 師：がん相談支援センター 社会福祉士 橋本祥子

### ■「がんを知ろう展示会」

期 間：平成30年2月5日(月)～13日(火)

場 所：長浜市立高月図書館

内 容：長浜市のがんの状況紹介

当院からは、がん相談支援センターのご紹介や、がんの治療や療養生活などに関するポスターやパンフレットの展示を行います。

問合せ先：がん対策推進室 電話 0749-68-2300 (代表)